

	シーズ名	グローバル時代・グローバルビジネスにおける異文化理解と問題対処法
	氏名・所属・役職	潘 山海・都市研究プラザ・特任准教授
<p><概要> 今はグローバル時代！それにグローバル的にビジネスを行う”グローバルビジネス”行為も日常茶飯事となっている時代！これは企業だけでなく、個人や団体、自治体や学校なども、外国や外国人との接触・交流、雇用・教育、共に仕事する・共に勉学・研究するなどのようなことを日本のどこかで日常的に行っている。特に、少子高齢化による人口減少の日本の国内市場が縮小傾向にあるにつれ、デフレ持続や消費の低迷続き、一部の学校も学生定員割れ・学部閉鎖が余儀なくされ、日本国内製造業の業績も停滞している一方、アジアの新興国の市場や若者人口が急速に拡大している。これは日本の絶好のチャンスだと取られて、日本の国内市場と海外市場とをリンクとする傾向が増えているだけでなく、国内の厳しい経営環境を回避するため、企業や団体、学校までが海外進出を選択しているケースも稀ではない。このよう時代・状況の中で、日本人が外国人との交流や共に働く機会が急増するにつれ、外国人との意思疎通の衝突・障碍やトラブルも頻発し、解決策を探るのが急務となっている。これらの衝突・障碍やトラブルの主な原因がお互いの文化「異文化」に対する無知や無視・不理解・不慣れなどによるものである。本研究は、異なる文化「異文化」の特徴を解明し、異文化に対する理解を深め、日常や職場、ひいてはグローバルビジネスの中での異文化衝突・障碍やトラブルを解決する方策を提案するものである。</p>		
<p><アピールポイント></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人として、文化とその特徴ポイントを把握できる。 2. 異なる文化「異文化」への認識・理解を深められる。 3. 異文化の人とのコミュニケーションの心構えが育てられる。 4. 「異文化」衝突・障碍のバックグラウンドが理解できる。 5. グローバル時代の異文化問題対処法をマスターできる。 		
<p><利用・用途・応用分野></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 外国人との遣り取りを必要とする個人・団体 2. 外国人を雇用するまたはしようとする企業 3. 海外進出するまたはしようとする企業 4. 海外へ赴任予定の各種要員・留学生 5. 海外から帰国した人員へのケア 6. 異文化コミュニケーション教育を必要とする学生 		
<p><関連する知的財産権> なし</p>		
<p><関連するURL> なし</p>		
<p><他分野に求めるニーズ> グローバルビジネスにおける異文化コミュニケーション能力で異文化衝突・トラブルを回避・解決する方策・事例。</p>		
キーワード	グローバル時代、グローバルビジネス、異文化と異文化理解、異文化コミュニケーション、異文化・多文化経営、異文化マーケティング	